

令和5年度 わかば福祉会 基本方針

1. 基本方針 ―「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざし―

ロシアによるウクライナへの武力侵攻は1年を超え、原油不足や食料供給の停滞による諸物価高騰・光熱費の値上げ等は当法人の経営にとって大きな危機となっている。

また、国内では3年間の新型コロナウイルス感染症の影響は政治・経済・社会の在り様に大きな問題を残すだけでなく、出生児数が80万人割れを起こる要因となった（推計より11年早く）。

わが国は、少子高齢化と人口減少が急速に進み、地域の子育て家庭が抱える問題は多様化・複雑化しており、子どもを取り巻く環境は、地域から孤立し、子育てに対する不安世帯の増加、児童虐待や子どもの貧困問題など、その対応が大きな課題となっている。これまで増加し続けた保育所の利用児童数も令和7年には横ばいになることが見込まれている。

令和5年度は、すべての子どもの権利擁護を図り、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども政策を総合的に推進するため、「こども基本法」が施行されるとともに、新たに「こども家庭庁」が設置される。また、令和4年度の改正児童福祉法では、「地域子育て相談機関（いわゆる「かかりつけ相談機関」）」を令和6年度に新たに設置し、保育所（園）・認定こども園等にはその役割を担うことが期待されるなど、国の子ども政策は大きな転換期を迎えている。保育の質の維持・向上に向けては、保育士・保育教諭等の処遇改善について、賃上げにかかる恒久的な財源の確保と、喫緊の課題である人材の確保・育成・定着を実現するための施策の拡充について、継続的に働きかけを行っていくことが重要である。

併せて、富山県幼児教育センターが実施する幼児教施設訪問研修の活用や、努力義務とされた福祉サービス第三者評価制度についても、保育所・認定こども園自らの保育の質の向上に向けて積極的に取り組むとともに、地域の子育て支援を担う社会福祉法人立の保育所・認定こども園は地域の様々なニーズに応えるべき「地域における公益的な取組」についてもその取り組みを積極的に発信していくことが求められる。

このような状況の中で、保育関係者には、地域のすべての子どもと子育て家庭への支援が一層求められるとともに、新たな時代における保育の専門性を活かした保育所・認定こども園としての機能と役割、社会的な使命を的確に捉え、さらに保育を発展・充実させていく力量が求められている。当法人においては、「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして、常に子どもの最善の利益の保障に向けて、保育所・認定こども園が相互に連携し、社会・地域からの信頼を一層高められるよう留意することが求められる。

他方、こども園の最大の危機は人材不足である。引き続き「保育士の処遇改善」に取り組むとともに、「保育士等の人材確保」「こども園での働き方改革」が求められている。

富山県は令和5年度、子育て世帯や子どもへの支援に注力し、過去最大の386億円を関連予算に充てた。子育て支援ポイントを新設し（子ども一人3万円に統一）、富山児童相談所や不適切保育の未然防止研修等を盛り込んだ。

富山市は令和5年度予算で出産・子育て環境の充実として「医療的ケア児保育事業3,192万円」、「不登校特例校設置検討788万円」を提案している。

当法人は富山県幼児教育センターや富山市社会福祉法人連絡協議会とともに「質の高い幼児教育」の実現と地域共生社会実現をめざす一翼として、地域における公益的な取り組みに積極的に取り組み、社会福祉法人としての役割を発揮するものである。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進するものである。

【重点事項】

- ① 子ども・子育て支援新制度や社会福祉法人制度改革、自然災害などの被災地における子どもや子育て家庭を含む地域のすべての方々への支援など、社会の要請や地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開を進める。
- ② 子育て関係者など広く県民や地域社会に向けて保育所(園)・認定こども園の機能・役割についての理解を広げ、子育てしやすい社会を支える取り組みを進める。
- ③ 地域において保育所(園)・認定こども園が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えるとともに、子育てニーズや問題発見・発掘に努め、各種団体との連携により解決を図ることができるよう支援する。
- ④ 保育に携わるすべての者の質の向上に向けた研修の充実と、必要な情報提供、福祉サービス第三者評価制度の利用等、保育所(園)・認定こども園へ一層の支援を進める。
- ⑤ 保育ソーシャルワーク研修等を通じて、相談援助技術の向上を図るよう支援を進める。
- ⑥ 富山県幼児教育センターと連携し、幼児教育施設訪問研修を積極的に活用するとともに、小学校との連携をより一層図るために幼児教育推進リーダー等への協力を行う。
- ⑦ 子ども主体の保育実践・子どもの権利擁護のために、こどもの虐待・不適切保育の根絶に率先して取り組む。
- ⑧ 富山市認定こども園協議会の強化を図るとともに富山県保育連絡協議会の事業の連携を図る。

2. 会 議

(1) 評議員会・理事会 必要回数

令和5年 6月(令和4年事業報告、決算等)

令和6年 3月(令和5年度補正予算、令和6年度事業計画、予算等)

3. 役員会等

(1) 施設代表者会議【原則として月1回開催】

(2) 監事会【期日：6月(令和4年度事業報告及び決算監査)】

(3) 事務部会議の充実

(4) 放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年1回実施】

(5) 第三者委員会(各保育園単位)

4. 事業内容

(1) 法人内研修の充実(全体研修、各園全体ゼミ)

(2) 8園の協力体制の確立と中長期計画の策定

(3) 保育事務、保育打合せ、記録等就業時間内業務遂行をめざす

(4) 未来委員会活動の推進

(5) 事業規模を拡大し、安定経営をめざす

(6) 「保育の出前」の推進

(7) 「14歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や子育てボランティアの受入れと育成

(8) 保育教諭等の人材の確保・定着・育成

・「新人保育教諭の家賃補助の充実」

・「長期雇用臨時保育教諭の処遇の抜本的改善」

・新人研修の強化

(9) 個配・医療的ケア児の基本方針の確定

(10) 給食の自主献立の推進

5. 環境の整備

(1) 下堀こども園の定員増と個配・医療的ケア保育室の建設

(2) はりはら保育園建て替えの案の策定

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行う。

7. 市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進める。

事務部 基本方針（ミッション）
ー地域における「育て・育ち」の安心安全な居場所づくりー

1. 運営体制

- (1) 法人の一体的運営・行政対応の一元化
- (2) 諸規定の改定・新設
- (3) コンプライアンスの遵守
- (4) 広報・宣伝業務の遂行
- (5) 中長期計画の策定
- (6) BCP（事業継続計画）の策定
- (7) 新規事業の計画・立案
- (8) リスク管理体制の構築
- (9) その他必要な業務

2. 労務管理

- (1) こども園等の働き方改革の実現、業務改善
- (2) 給与業務の正確・期限厳守・円滑化
- (3) 広域的な人材確保方策の推進
- (4) 勤怠管理の ICT 化
- (5) その他必要な業務

3. 財務管理

- (1) 財政基盤の強化
- (2) 月次会計の迅速化
- (3) 起案・支払業務の ICT 化
- (4) その他必要な業務

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	☆保育の質の向上をめざして☆ 共に切磋琢磨し積み上げてきたスキルをさらに確実なものとしていけるよう振り返りを大切にしていける。また、子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを丁寧に考えていく。子どもも職員も“楽しい”と思える保育園を目指していく。新たに外部講師による新たな取り組み始動。 ☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、個別配慮児へ専門的対応が必須である。学びを深め、すべての保護者へ子育ての楽しさを伝え、思いを共有し寄り添う事で保護者自身の子育ての力を引きだしていく。
2、施設の役割・あり方	☆地域への貢献と関係機関との連携 高齢者施設へのオンライン訪問等、新たな取り組み実践や地域民生児童委員さん、地域放課後デイサービス（児童発達支援施設）との連携をする。また支援センターとの連携強化し子育て講座や相談業務、地域の親子の現状など共有し、強み・課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていきたい。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切に、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。
3、人材育成・研修	☆育ちあう職員集団に☆ 人と豊かに関わる保育園職員という仕事に魅力を感じ、職員間のコミュニケーションを大切に信頼関係を構築していく。また、各種会議・ゼミをなどの持ち方を工夫し、子ども・保護者理解、共に働く同僚理解を深められるよう、前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、共感することを大切にしていける。 ☆リーダーの育成と研修制度 代表者会議をはじめ、各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認しリーダーシップを発揮できるようにする。互いの保育観や職員の思いを代弁することに繋げていく。各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。オンライン研修を取り入れ、正規以外の職員や他職種の職員にも学びの機会を設けていく。
4、働き方改革と処遇改善	☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 職員の家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえる職員集団でありたい。また、勤怠システム導入に伴い、業務の効率化や行事内容の見直しを行い、事務時間の確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていける。 ☆にこにこ園との連携 連携園として柔軟な人員配置や行事の参加、進級等を見据えた交流、などより確実な協力体制の強化を図る。
5、施設改修等	☆日々改善・見直しの積み重ね 高所等清掃や床のワックスがけ、園庭整備などの実施

令和5年度 行事予定表

わかば保育園

行事名	日程(予定)	参加クラス
進級式	4月3日(月)	幼児クラス
入園式	4月5日(水)	新入園児、途中入園児
春の遠足	4月19日(水)	年長
	4月20日(木)	年中
	5月25日(金)	年少
年長お泊り保育	5月11日(木)～12(金)	年長
クラス懇談会	5月22日(月)～26日(金)	乳児クラス保護者
	6月5日(月)～9日(金)	幼児クラス保護者
父母の会総会		父母の会総会(書面決議予定)
保育参加	7月24日(月)～28日(金)	幼児クラス
	7月31日(月)～8月4日(金)	乳児クラス
竹馬作り(2部制)	7月2日(日)	年長児親子
夏祭り	7月12日(水)13日(木)	全園児
同窓会	8月12日(土)	卒園児
年中お泊まり保育	9月1日(金)～2日(土)	年中
運動会	9月30日(土)	幼児クラス
2園合同いもほり	10月5日(木)	年長
遠足(2歳児)	10月11日(水)	めろん組親子
	10月12日(木)	ぶどう組親子
秋の遠足(幼児)	10月20日(木)	幼児クラス
生活発表会(幼児)	12月9日(土)	幼児クラス
雪遊び遠足(年長)	1月下旬予定	年長児親子
ねはんの集い	2月15日(水)	年長児
お別れ会	3月10日(金)	全園児
卒園式	3月16日(土)	年長

- ★運動能力測定は、6月と10月に実施(幼児クラスのみ)
- ★健康診断・歯科検診・はどちらも春・秋に各1回実施
- ★眼科検診・視力検査は春1回、視力検査は春・秋に各1回実施(視力・聴力は満3歳以上)
- ★身体計測は月1回実施
- ★検尿は年1回
- ★誕生会は月1回実施
- ★避難・災害訓練(火災・災害)は月1回実施、不審者対応避難訓練は年3回実施
- ★交通安全指導は月1回実施
- ★体育指導は月2回実施(3歳以上児のみ)

令和5年度 基本方針 はりはら保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	※保育の質を高めよう 「こどものやりたい」という思いを大事に生活の場を整えていく。やってみたいと思える環境づくりを見直していく。こども主体の保育を保障し0歳から大切に見守り安心して受け止められる人的環境のもと、子ども達の「育ち」を中心において丁寧に保育を行っていく。子どもの気持ちに寄り添い人間関係の学びに繋がる関りを大切にする。今年度は新人職員も加わるので、保育を共有し、お互いの良さに気づき認め合い、高めあいながら共に育ちあう職員集団を目指していく。 ※保護者とともに ・子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする。保育園側の思いだけにならないよう傾聴・伝えるスキルを身につけ、保護者と日々子どもの姿を話しながら、家庭と共に子どもの自己肯定感の向上を目指す。 ※人権を大切に ・多様化を尊重し人権を守ること生活を守ることなど、子ども達と一緒に保育の中でできる取り組みを考えていく。
2、施設の役割・あり方	※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。断らない一時保育（生後8週から利用できる一時保育は富山市内3園のみ）親子サークル2歳児クラスを設け活動の輪を広げていく。 ※地域との繋がりを大切に連携を深める ・幼保小の連携を密に園だよりを配布したり、コロナ禍でできなかった交流の機会をもてるように働きかけていく。 ※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、北保健福祉センターとの連携はもちろんだが、小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。
3、人材育成・研修	※リーダーの育成 昨年に引き続きリーダー会議（副主幹以上）を1学期1回、部門リーダー会議（主幹以上）を2ヶ月に1回程度開催する。課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。 ※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう ・保育の振り返りを通して子ども達の育ちや何に夢中になっているのか心が動いている姿を捉え、保育の語り合いを大事にしていく。
4、働き方改革と処遇改善	※ノンコンタクトタイムの実現 ・書類時間（事務時間）以外に、思いを共有するためのノンコンタクトタイム取得ができるようにしていきたい。 ※有給休暇の積極的取得推進 ・継続的に計画的な有給取得をはかる。また土日を含めて一人1回4～5連休を取得する。
5、施設改修等	※防犯・災害対策の強化 ・災害用品の備蓄をする。防犯カメラ増設。 ※園舎等の整備 ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、修繕するところは修繕し園舎を大切に使いしていきたい。園内の環境を見直していく。中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要とされる園舎づくりを考えていく。

令和5年度 年間行事予定

はりはら保育園

行 事 名	予定月日	参加年齢
入園式	4月6日（木）	新入園児
進級式	4月7日（金）	年長児・年少児
年長春の遠足	4月27日（木）	年長児
年中春の遠足	5月11日（木）	年中児
年少春の遠足	5月12日（木）	年少児
年長お泊まり保育	5月18日（木）～19日（金）	年長児
個別懇談会	5月23日（火）～5月31日（水）	全園児
1歳児・2歳児保育参観	6月5日（木）～9日（金）	うさぎ・ぱんだ
		くま・きりん
親子竹馬づくり	6月22日（木）・23日（金）	年長親子
夏祭り（おまつりごっこ）	7月4日（火）～5日（水）	全園児
同窓会	7月29日（土）	卒園児（1・2年生）
年中親子野外活動	9月8日（金）	年中児
運動会	9月30日（土）	年長児・年中児
2歳児保育参観（運動あそび）	10月4日（水）	2歳児・保護者
3歳児運動会ごっこ	10月5日（木）	年少児・保護者
2歳児遠足	10月10日（火）	2歳児
年少秋の遠足	10月11日（水）	年少児
年中秋の遠足	10月12日（木）	年中児
年長秋の遠足（来拝山登山）	10月13日（金）	年長児
焼き芋パーティー	10月26日（木）	全園児
年長個別懇談会	10月24日（火）～31日（火）	年長児
年少・年中生活発表会	12月1日（金）	年少・年中児
年長生活発表会	12月15日（金）	年長児
年長冬の遠足	1月12日（金）	年長児
年長クラス懇談会	1月18日（木）	年長児
2歳児保育参観（ごっこあそび）	1月20日（金）	2歳児・保護者
お店屋さんごっこ	2月15日（水）～16日（木）	幼児
お別れ会	3月8日（金）	幼児
卒園式	3月16日（土）	年長児・年中児

誕生会 月1回 避難訓練（火災・災害） 月1回 不審者対応訓練 年4回

交通安全指導 月1回 年長児活動 鍵盤ハーモニカ教室（月1回）

幼児参加活動 体育指導（月1回） 内科検診・歯科検診 年間2回 眼科検診 年間1回

令和5年度 基本方針 しんでん保育園

ねらい	施策
1、 質の高い保育の実現の為に	※保育の質の向上をはかろう - 若い職員が多い園であるが、副園長、主幹保育教諭が中心となり、保育の面白さや楽しさを共有しながら、少しずつ保育者自身が主体的に保育できる環境を目指していきたい。また個別に配慮が必要な子が多いので、園全体で一人一人の子の姿を共有し、安心できる保育者、落ち着ける環境のもと子ども達が心地よく過ごせるよう援助や配慮の方法を考えていく。 - 子ども達の育つ力を引き出し、支え、自らが大切な存在だという気持ちを持って成長するための土台を作る時期であることを再認識し、丁寧な保育を心がける。 - 保育者一人一人がそれぞれの良さや持ち味を尊重し、認め合い、お互いに支え合っていく。 ※保護者とともに - 保育参観・保育参加など保護者に普段の保育を見てもらう機会を増やすと共に、全園児の保護者と個別懇談を行い、その中で保護者の困り感に共感したり、子育ての楽しさを共有したりしつつ、保護者の子育て力を育み支えていく。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流・連携 - 学校運営協議会への参加及び、同じ校区内にある幼稚園との交流・連携を図る。また保内地区民生委員・児童委員の方、新田地区の方との連携を密にし、地域全体で子どもの育ちを支えていく。 - 県リハ、恵光学園、富山市まちなか総合ケアセンター、八尾保健センター等との連携を強化し、子どもの発育を多方面から支援していく。 - 地域ボランティアの方と稲作・野菜作りを協力しながら計画的に行い、それを「食育」、「SDGs」につなげていく。
3、人材育成・研修	※育ち合い・認め合う職員集団に - 日々子ども達の事を語り合う事を大切に、疑問はその都度話し合い、解決しながら子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指したい。また困った時にはフォローし合い、職員一人一人がリーダーシップを発揮できるような、協働的な職場環境を作っていく。 - 個別に配慮が必要な子への関わり方・支援の方法・保護者支援等について定期的（年6回予定）に研修を行い、気にかけていきたい子たちへの理解を深め、インクルーシブ保育の実現に向けて取り組む。 - 各クラス会議の充実を図り、一方的な話にならないよう対話を大切に、保育観の違う中でも、それぞれのクラス担任が子どもの事について語り合い、同じ方向を向いて保育できるようにしていく。
4、働き方改革と処遇改善	※より働きやすい職場環境を目指して - 年次休暇取得率前年度比アップを目指す。 - 幼児クラスのノンコンタクトタイム取得。 - 行事の見直し、行事の際の準備物の見直しを図る。 - 会議では、多様化した働き方の職員がいる事について相互理解を深める。
5、施設改修等	※安全・安心の見直し・改善点 1歳児クラス・遊戯室エアコンの入れ替え - 駐車場の安全確保のためのセンサーライト増設

令和5年度 行事予定表

しんでん保育園

行事名		日時（予定）		参加年齢	保護者・祖父母 参加行事
進級式		4/3	月	幼児クラス	
入園式		4/6	木	新入園児・年長児	★
保育参観・保護者会総会		4/21	金	全園児	★
クラス懇談会（お泊まり保育説明会）		5/10		年長児保護者	★
春の遠足	年長児	4/28	金	年長児	
	年中児	5/9	火	年中児	
	年少児	5/17	水	年少児	
年長お泊まり保育		5/26～27	金・土	年長児	
ファミリーデー				全園児	
個別懇談会		5/29～6/2	月～金	年少・年長児保護者	
		6/12～16	月～金	3歳未満児・年中児保護者	
花の苗植え		6/1		年長児と保内地区民生委員さん	
クラス懇談会	年中児			年中児保護者	★
	年少児			年少児保護者	★
	ばんだ組			ばんだ組保護者	★
	こあら組			こあら組保護者	★
	りす組			りす組保護者	★
こども夏まつり		7/14		全園児	★
同窓会（予定）		8/8		年長児・卒園児（1年生）	
ナイト保育		8/25	金	年中児	
保育参加		9/4～8		3歳未満児保護者	
		10/16～20		年少・年中保護者	
		12/11～15		年長保護者	
運動会		9/30		全園児	★
いもほり		10/3		年長児	
秋の遠足		10/6		3歳以上児	
来拝山登山		10/13		年長児	
2歳児遠足		10/27	金	2歳児	
個別懇談会		10/30～11/7		年長保護者	
		1/29～2/2		2歳児、年中児保護者	
		2/5～2/9		0、1歳児、年少児保護者	
球根植え		11/2		年中児と保内地区民生委員さん	
生活発表会予行練習（祖父母見学）		11/29		年長児・祖父母	★
生活発表会		12/3		幼児クラス・保護者	★
冬の遠足		1/19		年長児	
節分の集い		2/2	金		
ひなまつり（独居高齢者招待）		3/3		幼児クラス	
お別れ会		3/8		全園児	
ありがとうの会		3/13		年長児・祖父母	★
卒園式		3/17		年長児	★

◎内科検診・歯科検診は春、秋に各1回 眼科検診は春1回

◎視力検査・聴力検査は春、秋に各1回 ◎検尿は年1回（4月）

◎身体計測は月1回 ◎運動能力測定は5月と10月に実地（幼児クラス）

◎災害避難訓練・交通安全指導は月1回、不審者対応避難訓練は年3回

◎体育指導は月1回（幼児クラス）

◎絵画教室（年中児） お話の会（幼児クラス） ←5月より月1回

◎個別懇談会は春と秋（年長）・冬（年長以外）の年2回

★・・・は保護者・祖父母参加行事です。（自由参加）

令和5年度 基本方針

石金こども園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	☆目の前の子どもの姿から教育・保育を考えよう☆ 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」では、環境による教育・保育の大切さが訴えられている。環境には物的環境も人的環境も含まれる。そこで、昨年度に引き続き、目の前の子どもの姿からどんな環境を設定すれば遊びや生活がより充実するかを職員と話し合いながら、教育・保育を進めていきたいと考えている。そのために、クラス会議や月間指導計画を作成する会議（通称月案会議）をより充実させ、子どもが真ん中の教育・保育の実現を目指したい。また人的環境においては、職員が子どもの心や思いをより深く考えられるよう、園内研修にて身近な事例やエピソードの検討ができるようにしていきたいと思っている。
2、施設の役割・あり方	☆地域とのつながりと専門機関との連携☆ アフターコロナの令和5年度。地域とのつながりが少しずつ再開していくことが予想されるので、積極的に地域に出向きつながりを深めていきたいと思っている。また、広い意味での地域だけでなく、園周辺の身近なつながりも大事にし、地域の皆さんに応援される施設を目指していきたい。また、様々な家庭背景があり、地域の関係機関との連携が必須である。こども園でできることには限界があるが、“親子の幸せ”のためにできる支援をしていきたい。また、個別に配慮が必要な園児の対応を地域の専門機関と連携しながら進めていきたいと思っている。
3、人材育成・研修	☆自ら考える職員集団へ☆ 公立保育所からの民営化も6年目を迎え、若手職員も育ってきて、頼もしいばかりであり、みんなで支え合える職員集団に成長しつつある。今年度はそれをもう1歩進め、職員それぞれが自分の立場や役割を考え、自ら動ける職員集団を目指したいと思っている。トップダウンで決めなければならないことも多々あるが、様々なことを職員間で話し合っ決めてられるようにしていきたいと思っている。そのためにエリア会議等で目の前にある課題を投げかけ、どうしたらいいのかを当事者の職員で考えられるようにしていきたいと思っている。研修は積極的に参加できるように配慮し、園内研修では非正規の先生方にも参加してもらえようオンラインと参集形式の両方を活用し充実できるようにしていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	☆より働きやすい職場環境と仕事の効率化☆ IC カードによる勤怠管理が本格的に始まる今年度。仕事の効率化をしっかりと図っていききたいと考えている。そこで、ICT 化を1歩でも2歩でも進めるため、不必要な書類はやめ、取得できている事務時間に加えて、昼寝のないクラスの日々の事務をする時間や保育の準備をする時間を勤務時間内で確保できないか模索し、実現していきたいと思っている。また、長くやりがいを持って働き続けられるよう、それぞれに合わせた働き方を提案できるようにしていきたい。
5、施設改修等	☆日々の安全対策と遊びの環境の整備☆ 今年度も大きな修繕等は予定していないが、日々の安全点検から見えてきた修繕や改善をしっかりと行っていききたいと思っている。そして、昨年度実施できなかった園庭の築山の改修に着手していきたいと思っている。また、より遊びが発展するよう、必要な遊具や用具の購入を考えている。

令和5年度 石金こども園 行事予定表

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月5日(水)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
入園式	4月6日(木)	新入園児・保護者(2部制)
保護者会総会	4月22日(土)	保護者会総会：全園児
春の遠足(年少)	5月16日(火)	C. 年少児(あじさい)
春の遠足(年少)	5月17日(水)	C. 年少児(ゆり)
春の遠足(年少)	5月18日(木)	C. 年少児(ひまわり)
春の遠足(年長・年中)	5月19日(金)	A. 年長児・B. 年中児
お泊り保育(年長児)	5月25日(木)～5月26日(金)	A. 年長児
交通安全教室	6月14日(水)	A. 年長児
プラネタリウム(年長児)	未定	A. 年長児
七夕の集い	7月7日(水)	全園児
保育参加(年中・年少)	7月3日(月)～7月7日(金)	B. 年中児C. 年少児
保育参加(年長)	7月10日(月)～7月14日(金)	A. 年長児
夏祭り	7月19日(水)～7月21日(金)	全園児
保育参加(1, 2歳児)	7月24日(月)～7月26日(水)	ちゅうりっぷ・さくら・こすもす・ばなな組
高齢者給食会	未定	A. 年長児
同窓会	8月5日(土)	卒園児(1年生～4年生)
防火教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
防犯教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
個別懇談会	8月28日(月)～9月1日(金)	A. 年長児保護者(全員)・他➡希望者
運動会C	9月20日(水)	C. 年少児(あじさい組)・保護者
運動会C	9月21日(木)	C. 年少児(ゆり組)・保護者
運動会C	9月22日(金)	C. 年少児(ひまわり組)・保護者
秋の遠足(2歳児)	9月27日(水)	ちゅうりっぷ組
秋の遠足(2歳児)	9月28日(木)	こすもす組
秋の遠足(2歳児)	9月29日(金)	さくら組
運動会A・B	10月14日(土)	A. 年長児・B. 年中児・保護者
保育参加(0, 1歳児)	10月18日(水)～20日(金)	りんご・いちご・もも組
秋の遠足A.B.C	10月20日(木)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
やきいもパーティー	10月24日(火)	全園児
高齢者給食会	未定	A. 年長児
3歳児生活発表会	11月22日(水)	C. 年少児・保護者
生活発表会(4.5歳児)	12月9日(土)	A. 年長児・B. 年中児・保護者
2歳児ミニ発表会	12月20日(水)	2歳児・保護者
クリスマス会	12月22日(金)	全園児
新年お楽しみ会	1月12日(金)	全園児
冬の自然体験	未定	A. 年長児
節分のつどい	2月2日(金)	全園児
成田山節分会	未定	A. 年長児
ひな祭り会	3月2日(金)	全園児
お別れ会	3月14日(木)	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
卒園式	3月17日(土)	A. 年長児・保護者

※検尿は年1回

※誕生会は園児の誕生日に各クラスで実施

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※交通安全指導は月1回実施

※個別懇談会は年1回実施(A. 年長児保護者全員)(他のクラス希望者)

※体育指導は年10回実施(A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児)

★予定に変更がある場合は、事前にお知らせいたします。

令和5年度 基本方針 下堀こども園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	★質の高い保育をめざす ・保育者自身も“保育が楽しい”と思えるような保育を展開する。（環境を通じた保育。環境を生かしたワクワク・ドキドキする保育） ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。（未満児は月齢別のクラスとし、ゆったりとしたかわりを大切にしてい） ・ものがたり保育の展開 ・こどもの主体性を尊重した保育の推進 ・遊びと生活中心の経験主義教育 ★保護者と共に ・保護者支援・保育参加を進める。 ・家庭訪問の実施。家庭環境を知りよりこども理解を深めていく。 ・行事はまだまだ検討を重ねながら進めていく。
2、施設の役割・あり方	★地域の子育て支援の場としての役割の拡充 ・一時保育専門クラスの設立をし、断らない一時保育を目指す。また、親子サークルもスタートさせ、地域の子育て家庭の集いの場としての役割を果たしていきたい。 ★関係機関との連携を深める ・情報共有や互いに学び合える場を作り、小学校との連携を深める。 ・医療ケア児・個別配慮児など関係機関との連携を取りながら、支援の幅を広げていく。
3、人材育成・研修	★お互いを認め合える職員集団を目指して ・職員が気になることを課題とし、学びあっていく。他愛もないことが話し合える職員間の関係づくり。良いことも悪いことも言い合える関係づくりをしていく。 ・新人職員の育成、 ★全員で学び合える環境を整える ・職員集団で研修を進める（正規も臨時職員も一緒に学ぶ機会を持つ） ・園内研修と園外研修を進め、研修報告から職員全体の学びとする。
4、働き方改革と処遇改善	★より働きやすい職場にするために努力する ・事務時間を確保する。また、クラス会議や学年会議の時間も定期的に出来るように配慮する ・職員配置基準を遵守。
5、施設改修等	・2階あなぐらの活用方法を考える
6、その他	

令和5年度 行事予定

下堀こども園

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月3日（月）	幼児
入園式	4月6日（木）	途中入園児・新入園児・保護者
交通安全教室	4月28日（金）	幼児
春の遠足（幼児）	5月12日（金）	幼児
お泊り保育	5月18日～19日（木・金）	年長
保育参観	5月26日（金）	全園児
防火教室	6月予定	幼児
七夕の集い	7月7日（金）	全園児
夏季午睡	7月10日（月）～	年長・年中
竹馬作り	7月12日～14日（水～金）	
なつまつり	7月19日（水）	全園児
ナイト保育	9月1日（金）	年中
運動会	10月7日（土）	幼児
秋の遠足（年長）	10月11日（水）	年長
秋の遠足（年中）	10月12日（木）	年中
秋の遠足（2歳児）	10月13日（金）	2歳児
秋の遠足（年少）	10月19日（木）	年少
来拝山登山	10月20日（金）	年長
生活発表会	12月2日（土）	年長・年中
2歳児生活発表会	12月14日（木）	2歳児
3歳児生活発表会	12月15日（金）	年少
クリスマス会	12月22日（金）	全園児
新年お楽しみ会	1月12日（金）	幼児
節分の集い	2月2日（金）	全園児
ひな祭り会	3月1日（金）	全園児
おわかれ会	3月16日（金）	全園児
修了式	3月22日（金）	幼児
卒園式	3月23日（土）	年長
家庭訪問	6月予定	全園児
保育参加	※未定	全園児

※検尿は年1回 歯科・内科検診は年2回 眼科健診は年1回

※誕生会は月1回実施 ※交通安全指導は月1回実施

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※絵画教室（年中）月1回実施

※体育指導（幼児）は年9回実施

令和 5 年度 基本方針 わかばにこにこ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	<u>◎安心、安全、家庭的な雰囲気大切に</u> 子ども達にとって居心地の良い空間となるよう、まずは職員同士のコミュニケーションを大切にしていく。小規模保育の良さを活かしながら、子ども主体の丁寧な保育を心がける。 職員全体で子どもの成長を喜びあい、一人一人の個性を大切にし、日々の温かな会話を大切にしていきたい。 保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。
2、施設の役割・あり方	<u>◎地域に根ざした暖かい保育園づくり</u> 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。
3、人材育成・研修	<u>◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する</u> 職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行っていきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達の先取りをするということではなく、子どもに寄り添った関りをするということをモットーに取り組んでいく。又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。又、職員一人一人の気づきやアイデアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	<u>◎様々な働き方と効率の良い仕事</u> タイムカードを導入して職員の様々な働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整えてく。又、体制に困ったときは、わかば保育園職員と連携を図り、互いに補っていききたい。事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇は計画的にとれるようにする。
5、施設改修等	<u>◎保育を充実させるための環境作り</u> 片づけが苦手な職員も整理整頓がしやすいよう、棚や押し入れの収納を工夫していく。

令和5年度 行事予定

わかばにこにこ園

4月	お花見散歩	全園児
6月	クラス懇談会	全保護者
7月	七夕の集い	全園児
8月	プール遊び	全園児
	夏祭り	全園児
9月	0歳保育参加	0歳児
	1～2歳親子遠足	1・2歳児親子
10月	にこにこ運動会	0歳児
	ハロウィンパーティー	全園児
11月	保育参加	全園児
	園外保育	うさぎ組
12月	クリスマス会	全園児
1月	新年お楽しみ会	全園児
2月	節分の集い	全園児
	お店屋さんごっこ	全園児
3月	ひなまつりの集い	全園児
	ありがとうお別れの会	全園児

※誕生会は個人にあわせて各クラスで実施

※健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施(6月・11月)

※眼科検診は春1回(6月)

※身体計測は月1回実施

※検尿は年1回(4月)

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年3回実施

※交通安全指導は月1回

※個別懇談会(春は希望者のみ・冬は2歳児のみ)

令和5年度 基本方針 きぼう保育園

項目	ねらい・重点施策
1、質の高い保育の実現の為に	<u>1、子どもにとって居心地良い時間・空間に</u> 小人数ならではの家庭的保育を継続して行う中で、子どもひとり一人に応じたきめ細かい、そして子どもの声をしっかり受け止められるような保育を心がける。 0.1.2歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように、発達に応じて変化のある環境の工夫を行う。(人的環境、室内環境等) <u>2、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合えるように</u> 必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。またきっぷノートを活用して、リアルタイムに子どもの様子を伝えて安心して働いてもらえるようにする
2、施設の役割・あり方	<u>1、「ホクタテ」とのつながりを大切に</u> 現在もさまざまな協力をいただいている、この関係を今後も大切につなげていく。また定員減への検討を理解してもらうために、園の状況を今以上に詳しく伝えていく。またホクタテの事業所内という位置づけを外部の方にも知ってもらうために、HP などへの掲載を依頼してみる。 <u>2、地域との交流を丁寧に</u> 園庭が無い為近くを散歩したり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ中で、地域の方と挨拶を交わしたり、触れ合いを大切にしていく。
3、人材育成・研修	<u>1、「乳児保育」とは？をいつも念頭に</u> 小さな集団の中でそれぞれの役割分担をしっかり考え、こども主体の保育ができるよう乳児保育の学びをより深め、自己研鑽に励む。 <u>2、話し合うことによって成長できる職員集団に</u> 定期的に時間を作り、また気になる事例があった時はすぐに発信して職員全員で話し合う機会を多く持つようにする。 お互いの保育を高めあえるような仲間になれるよう、それぞれが意識しながら話し合いに臨む努力をする。 <u>3、園内研修を充実させる</u> 参加した研修の学びを伝えあったり、書籍から参考になる文章を紹介したり、日々の中でも学ぶ姿勢を持つようにする。また他の園の研修に参加させられたり、同じ小規模保育園(他法人でも)と一緒に学ぶ機会を持つ。
4、働き方改革と処遇改善	<u>1、支えあう職場環境を模索する</u> 小さな職員集団の中でみんなが無理せず働けるよう、有給・振替休日・事務時間・保育の準備時間を取得できるように工夫する。また法人の他園に協力を依頼する
5、施設改修等	<u>1、ワンフロアを出来るだけ広く効率よく使うために</u> 異年齢の子どもたちが過ごす限られた空間の中で、何があってもどうすればより快適に生活ができるか、子どもたちの動線を意識して環境を整備していく。(環境向上事業の活用)(棚や押し入れの更なる見直し)
6、その他	<u>1. さまざまな感染症対策のさらなる強化</u> <u>2. 小規模3ヶ園での連携・情報交換、また他法人の小規模園との交流</u>

利用園児数

定員16名(内地域枠5名) 令和5年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	計
従業員枠		2名	4名	6名
地域枠		3名	1名	4名

今後の予定

(従業員枠)

0歳児 5月、8月、12月入園予定

令和5年度 行事予定

4月	・入園式 ・お花見	11月	・園外保育(さくらんぼ保と合同)
6月	・園外保育	12月	・クリスマス会
7月	・七夕の集い ・水あそび ・保育参加	1月	・新年お楽しみ会
9月	・遠足	2月	・節分の集い ・個別懇談会
10月	・2歳児遠足(さくらんぼ保と合同) ・ハロウィンパーティー	3月	・ひなまつりの集い ・お別れ会

☆誕生会は個人に合わせて実施

☆身体計測は月1回実施 ☆健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施 ☆検尿は年1回

☆避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年4回実施

令和5年度 基本方針 わかばさくらんぼ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	<u>◎安全、安心、居心地の良い空間を</u> 新メンバー体制となり、子どもたちが一日も早く新しい保育士や環境に慣れ、引き続き安心できる園生活を送れるよう職員一同努力する。まずは、何事においても慌てず、ゆったりとした心構えで行動する。又、子どもの人権を守るために職員一人一人が言葉遣いや関わり方において今一度見直し、日々温かい保育が行えるよう話し合っていく。ワンフロアで異年齢生活をするので、安全かつ子どもの主体的活動を大切にできるような環境の工夫を心がけていきたい。
2、施設の役割・あり方	<u>◎施設内外の方々に見守られながら</u> さくらビルの1階にある保育園では、様々な職種の大人の方に出会う機会が多く、子どもたちは大変可愛がっていただいている。それだけ保育園が注目されているということを肝に銘じて、適宜に行動していきたい。又、様々な方に挨拶したりコミュニケーションをとったりすることを大切に、地域との協力体制がもてるよう行動していきたい。
3、人材育成・研修	<u>◎0、1、2歳児保育の楽しさを分かち合う</u> 0、1、2歳児の成長は著しく、豊かな表現や発想、つぶやきはとても愛らしい。その姿を園全体で見守り、喜び合える雰囲気大切にしていきたい。よりよい保育を行うために職員間の意思疎通が大切なので、定期的な会議を行えるよう計画していく。パート職員が多く、午前と午後に分かれているため共通理解を図るための工夫が必要である。又、職員体制が厳しい中ではあるが研修の機会を逃さないように計画し、専門知識を深める努力をする。
4、働き方改革と処遇改善	<u>◎様々な働き方と効率の良い仕事</u> 様々な働き方を理解し、働きやすい環境を整えてく。事務時間を定期的にとれるよう工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇も計画的にとるようにする。さくらビル2階のワークブースを利用しノンコンタクトタイムを確保する。体制に困った時は、石金こども園と連携を図り、互いに補っていききたい。
5、施設改修等	<u>◎快適に過ごすために</u> 問題のある箇所等はホクタテビルメン事業部の方と相談し、解決策を考える。

小規模保育事業A型

わかばさくらんぼ園

設置主体

社会福祉法人わかば福祉会

連携施設

社会福祉法人わかば福祉会 石金こども園

利用定員

定員12名

令和5年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
定員	4名	4名	4名	12名
4月入所児童数	1名	4名	4名	9名

令和5年度 行事予定

わかばさくらんぼ園

【わかばさくらんぼ園の行事】

行事内容	日程	参加クラス
お花見散歩	4月3日～	全園児
保育参加	6月6日（火）	全園児と保護者
七夕の集い	7月7日（金）	全園児
個別懇談会	7月	希望者のみ
水あそび	7月13日（木）～	1，2歳児
夏祭りごっこ	8月23日（金）	全園児
運動会ごっこ	9月	全園児
2歳児遠足	10月5日（木）	2歳児（きぼう保と合同）
ハロウィン	10月31日（火）	全園児
園外保育	11月	1，2歳児（合同）
勤労感謝ウィーク	11月20日～	1，2歳児
クリスマス会	12月22日（金）	全園児とホクタテさん
新年お楽しみ会	1月16日（火）	全園児
個別懇談会	1月	希望者のみ
節分の集い	2月2日（金）	全園児
お店屋さんごっこ	2月22日（木）	全園児
ひな祭り会	3月1日（金）	全園児
思い出散歩	3月19日（火）	全園児
ありがとうお楽しみ会（お別れ会）	3月22日（金）	全園児

☆誕生会は園児の誕生日にあわせてお祝いします。

☆災害時対応訓練、交通安全指導は月1回実施。不審者訓練は年間3回実施。

☆身体計測は毎月計測。

☆検尿は年1回、5月頃の予定。

☆内科検診、歯科検診は春と秋の年2回実施。視力測定は満3歳のみ実施。

令和 5 年度 事業計画書

わかば学童クラブ堀川園

子どもが安心して自分の思いや個性を発揮し、のびのびと過ごせる環境を基盤に堀川園の良さである集団遊び・戸外遊びを充実させていく。令和 5 年度より 1～6 年生の保育が始まるにあたり、各学年ならではの心身の成長に対して適切な援助をする。また学年関係なく遊ぶ楽しさや年上への憧れ、年下へのいたわりの気持ちを生活や遊びを通して感じられる場所にする。トラブルになった場合は時には見守り、時には子どもと一緒に解決方法を考えることにより自分で考える力も育てていきたい。保護者の要望・相談等にもしっかりと耳を傾け子育ての支援や助言を行えるようにしていく。その他小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで考えて工夫しよう～
- 3、 安全な環境づくり ～室内外の環境の見直し・帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4 月 1 年生歓迎会
 - 5 月 春の園外保育（小学校振替休業日に予定）
 - 6 月 野菜の苗植え
 - 7 月 夏休み開始…実験、プール遊び、収穫クッキングなど
 - 8 月 夏の園外保育
山びこキャンプ（立山青少年自然の家）
 - 9 月 収穫クッキング
 - 10 月 ハロウィンパーティー
 - 11 月 秋の遠足
 - 12 月 冬休み開始…クリスマス会、大掃除
 - 1 月 雪遊び遠足（立山少年自然の家にて）
 - 2 月 節分豆まき
 - 3 月 お別れ会
- 他、避難訓練（年間 4 回予定）、誕生会、生活指導（適宜）など

校区別児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	校区別合計
蛭川小	2 8	1 9	1 7	1 5	3	2	8 4
その他	堀川南 1 藤ノ木 1 片山学園 1 新保 1 朝日 1	堀川南 2	堀川 1 中央 1 四方 1 朝日 1	四方 1			1 2
学年合計	3 3	2 1	2 1	1 6	3	2	9 6

令和5年度 基 本 方 針

わかば学童クラブはりはら園

6校の小学校児童の利用があるはりはら園。違う小学校へ通う児童たちが、落ち着いた雰囲気の中で保育教諭や友だちとのびのびと過ごし、安全で安心して生活できる居場所となるような「第二の家」になる学童にしていきたい。保護者の方々にも安心して預けていただけるよう信頼関係を築いていきたい。また、児童に対して個別に配慮が必要な時は、一人一人に合った対応で関わっていきたい。

～ “明日も行きたい！と思えるはりはら学童”

子ども達の放課後と学校休業日の生活を充実したものにし、

保護者の仕事と家庭生活をサポートする～

○子どもが安全に、安心して心地よく過ごせるように

○たくさんの友だちと夢中になって遊んだり、体を思い切り動かして遊んだりできるように

○知的好奇心をくすぐる遊びを取り入れ、学習に前向きに取り組めるように

○保護者と密接に連携をとり、子育てと仕事を両立できるように

主な年間行事

4月	新 1 年生歓迎会	10月	ハロウィン仮装パーティー
5月	花の苗植え 園外保育	11月	
6月		12月	クリスマス会
7月	七夕飾り作り 夏休みスタートパーティー	1月	新年お楽しみ会 冬の遠足
8月	学童キャンプ（1泊2日国立立山青少年自然の家） 園外保育 学童祭り ミニ運動会 夏休み楽しかったねパーティー	2月	節分の集い バレンタインパーティー
9月	お月見クッキング	3月	ひな祭り会 お別れ会

令和5年度はりはら園利用校下と登録児童数

<長期のみ>

	針原	新庄北	三成	広田	新庄	合計		大広田	奥田北	合計
1年	8	2	1	5	1	17	1年	0	0	0
2年	8	9	0	2	0	19	2年	2	1	3
3年	6	2	1	8	2	19	3年	0	0	0
合計	22	13	2	15	3	55	合計	2	1	3

令和5年度 事業計画書

わかば学童クラブ下堀園

令和5年度は地域のニーズに応え、小学校高学年児童も受け入れ低学年クラス「」高学年クラス「」と2支援単位で行う。人数が増えるが、子どもの安全と保護者の安心を第一に、学童期の子ども達が心身ともにすこやかに過ごせる環境づくりを丁寧に行っていく。季節の行事や異年齢の友だちとの関りを通じて、子どもが主体性を発揮できるよう各クラスそれぞれの育成内容を吟味していく。また、就学から退園後の放課後生活など育児相談にも積極的に応じながら、成長の喜びを保護者と共有していきたい。その他、小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～遊び中心の保育～
- 3、 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい空間づくり～ ～帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童への適切な関わり ～安心して過ごせる居場所に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4月 1年生歓迎会
- 5月 春の遠足（学校振替休業日に予定）
- 6月 工作週間
- 7月 夏休み開始、水遊び・虫捕りなど様々な遊び、低学年クラス園外保育
- 8月 やまびこキャンプ（1泊2日、立山青少年自然の家、保護者ボランティア参加）
高学年クラス海水浴、サマーパーティー、ナイトウォーク（肝試し）
- 10月 ミニ運動会、ハロウィンパーティ
- 11月 秋の遠足（登山）、学童まつり（保護者や地域の方を招いてお店ごっこや歌の発表など）
- 12月 冬休み、クリスマス会、雪遊び遠足（立山少年自然の家にて）
- 1月 新年お楽しみ会
- 2月 作品展（保護者や家族を招いてミニ展覧会）
下堀こども園年長児との交流会
- 3月 お別れ会

この他、避難訓練（年間4回予定）、誕生会、生活指導（適宜）、保護者懇談会（座談会）、個別懇談会など

＊クラブ活動（卓球・野球・サッカー・ダンスなど）を隔週で月2回程希望者を募って行いたい

校区別児童数

	1年	2年	3年	4年	合計
堀川南小	25	18	17	12	72